



大阪科学・大学記者クラブ 各位  
(同時資料提供 大阪市政記者クラブ)

公立大学法人 大阪市立大学  
大学広報室

大阪市大医学部教職員学生・復興支援ボランティアグループ「なにわすまいるず」  
「復興支援シンポジウム～寄り添い、学び、教訓を備えに～」  
を開催します

大阪市立大学医学部の教職員と学生を中心に結成された復興支援ボランティアグループ「なにわすまいるず」は、平成26年6月16日(月)に大阪市立大学阿倍野キャンパスで、「復興支援シンポジウム～寄り添い、学び、教訓を備えに～」を開催します。  
本シンポジウムでは、東日本大震災で甚大な被害を被った岩手県大槌町において、調査活動を続けてきた本学理学研究科の原口強准教授および医療支援にあたった本学医学研究科の山本啓雅教授による講演のほか、岩手看護短期大学教授であり、保健師として現在も大槌町の復興に尽力されている鈴木るりこ氏による特別講演が行われます。

震災研究、復興支援、災害医療に携わっている方はもちろんのこと、興味のある方は是非ご参加ください。

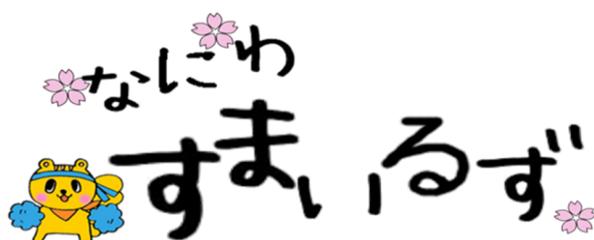
記

- 開催日時 平成26年6月16日(月) 17時～19時30分 (開場 16時30分)
- 会場 大阪市立大学 阿倍野キャンパス(医学部学舎) 4階大講義室  
(大阪市阿倍野区旭町1-4-3)
- アクセス JR・地下鉄「天王寺」駅、近鉄「大阪阿倍野橋」駅下車 徒歩10分  
<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>
- 内容
  - 開会の辞 大阪市立大学医学部 医学研究科長  
なにわすまいるず代表 荒川 哲男 (あらかわ てつお)
  - 挨拶 大阪市立大学 医学部附属病院  
病院長 石河 修 (いしこ おさむ)
  - なにわすまいるず活動紹介
  - 講演①『東日本大震災に学び西日本大震災に備える』  
講師：大阪市立大学大学院 理学研究科 准教授 原口 強 (はらぐち つよし)  
講演②『災害医療と当院の医療支援』  
講師：大阪市立大学大学院 医学研究科 准教授 山本 啓雅 (やまもと ひろまさ)
  - 大槌町奨学生からの手紙紹介
  - 特別講演 講師：岩手看護短期大学・地域看護学専攻 教授 鈴木 るり子
  - 閉会の辞 大阪市立大学 医学部附属病院  
病院長 石河 修

5. 主催 大阪市立大学医学部教職員学生・復興支援ボランティアグループ「なにわすまいるず」
6. 共催 大阪市立大学医学部、大阪市立大学医学部医師会
7. 参加費 無料
8. 募集人数 先着 250 名 ※募集人数に到達次第締め切ります。
9. 申込方法 下記ホームページよりお申込みください。  
<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/misc/naniwa-smiles.html>
10. 申込みに関するお問い合わせ先  
大阪市立大学 医学部 学務課 (担当：吉田)  
TEL 06-6645-3611 (問い合わせ可能時間：平日の 9 時～17 時)

#### 「なにわすまいるず」について

東日本大震災直後、大阪市立大学病院から岩手県大槌町へ医療チームが派遣されました。それとともに、市大医学部教職員有志によるボランティア「なにわすまいるず」が結成され、義捐金や物資を集め被災地に送りました。現在も募金活動を継続しており、義捐金を岩手県大槌町の中高校生に奨学金として贈呈しています。平成 25 年度から大阪市立大学医学部学生もメンバーに加わり、街頭募金・大槌町訪問などの活動を行っています。



大阪の元気を、被災地に届けよう！プロジェクトin 大阪市大病院

#### 【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学 医学部・附属病院運営本部 庶務課 担当：池山

TEL：06-6645-2711 FAX：06-6632-7114

Email：kouhou@med.osaka-cu.ac.jp